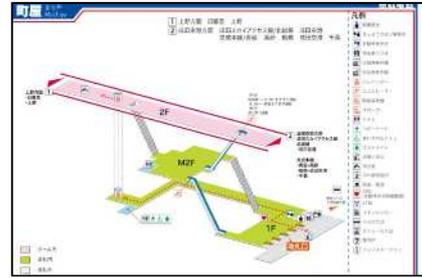


H31.3.1
荒川区都市計画課

平成30年度荒川区バリアフリー基本構想推進協議会 住民検討委員会 施設見学報告書

- 1.日時 平成30年12月14日 10時～10時半
2.場所 京成町屋駅
3.説明者 京成町屋駅駅長 大竹氏
4.参加者 A班:9名
学識経験者、車いす利用者、聴覚障害者、視覚障害者、高齢者、子育て世帯、区職員



- 5.内容
5-1.駅説明
- ・バリアフリーのハード面の取組み
 - ・ホーム端に注意喚起のCPライン引き
 - ・内方線付点状ブロックの整備
 - ・音声、音響設備の設置
 - ・EV、ESC設備の設置
 - ・多目的トイレの整備 等

- ・バリアフリーのソフト面の取組み
- ・声かけ、サポート運動
- ・駅員の安全教習 等



5-2.施設内指摘事項

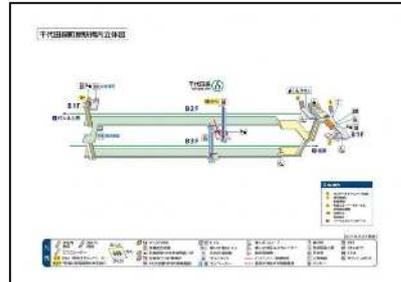
発言者	指摘内容
	・ホームドアの設置の検討をしてほしい。
車いす利用者	・ホームドアを設置するとホームが狭いため車いす利用者は通行しづらくなる。
	・エレベーターに乗れる人数を外に表示してほしい。エレベーターを待たらいいのか、階段を使った方がいいのか迷う。
学識経験者	・設備(自動販売機)がホームの真ん中かつEVから近い動線上にあるので、設置箇所を変更したほうがいいのかではないか。
子育て世代	・電車にベビーカーを乗り入れるときに段差や隙間があると厳しい。
聴覚障害者	・電車到着の電光掲示板はホームの真ん中にはあるが端にはないので、つけてほしい。
車いす利用者	・ホーム上がぼこぼこしていて通行しにくい。

5-3.施設外指摘事項

発言者	指摘内容
視覚障害者	・尾竹橋通りから京成町屋駅にかけての歩道における誘導ブロックの劣化(色が剥がれている、一部ない)

平成30年度荒川区バリアフリー基本構想推進協議会 住民検討委員会 施設見学報告書

- 1.日時 平成30年12月14日 10時～10時半
 2.場所 東京メトロ千代田線町屋駅・エレベーター専用口
 (マークタワー内)
 3.説明者 東京メトロ鉄道本部鉄道統括部計画課 吉川氏
 4.参加者 B班:8名
 学識経験者、車いす利用者、聴覚障害者、視覚障害者、子育て世帯、区職員



- 5.内容
 5-1.駅説明 駅内のバリアフリー施設等の説明
 ・エレベーターについて
 ・券売機について
 ・ホーム端の紅白のラインについて
 ・誘導ブロックについて 等



5-2.施設内指摘事項

発言者	指摘内容
車いす利用者	・常駐する駅員がほしい。
車いす利用者	・ホームドアの設置を早くしてほしい。ホームドアのついていない箇所については視認性の良い場所に警備員を配置してほしい。
車いす利用者	・町屋駅には何人の駅員がいるのか。
学識経験者	・駅員の呼び出し用インターホンはあるが、誘導ブロックはそこまで配置されていない。触知図はあるが、インターホンの位置が示されていない。
車いす利用者	・インターホンの位置が高い。
車いす利用者	・また、インターホンの問い合わせは1日何件くらいか。
車いす利用者	・町屋駅の構造上、誘導ブロックの内側を歩くと柱に当たってしまう。
車いす利用者	・車両入口の段差も解消してほしい。床の低い車両もあると聞いた。都営三田線のように、補助がなくても車椅子が乗れるようにしてほしい。
車いす利用者	・ホームドアについては誰がやるのか。東京都か。事業者がやるのか。
視覚障害者	・声掛け運動や放送でのアナウンスは今後も積極的に実施して欲しい。
聴覚障害者	・いつでも話しかけられるわけではないので、伝言板や非常時の表示の工夫をしてほしい。

5-3.施設外指摘事項

発言者	指摘内容
車いす利用者	・ムーブ町屋のエレベーターの扉が、すぐに閉まってしまう。